

# 全校朝会 「自然とできるように 一ゴルフ松山選手のキャディー」

令和6年4月30日（月）

奥沢小学校長 前田 恵里

近年、多くの日本人スポーツ選手が世界で活躍しています。アメリカ大リーグ・野球の大谷選手、NBA・バスケットボールの八村選手や渡辺選手、イタリアセリエA・バレーの石川選手や高橋選手です。水泳の池江璃花子選手は、約5年前に白血病という重い病気になりましたが、克服して2021年の日本選手権で優勝しています。同じ年、東京オリンピックにリレー選手として出場しました。先月は、アメリカで毎年行われ、世界中の選手が憧れるマスターズトーナメントというゴルフの大会に松山英樹選手が出場しました。



今日は、この松山選手に関する話をします。今年のマスターズでは、アメリカのシェフラー選手が優勝しました。マスターズには、88年前に日本人が初めて出場しましたが、誰一人、優勝したことがありませんでした。しかし、実は3年前の2021年に松山選手が日本人、アジア人として初めて優勝しています。

さて、ゴルフにはキャディという役割の人が、選手を様々なサポートします。キャディは、ボールやクラブを拭いたり、重いゴルフバックを持って運んだり、コースのことを選手に教えたりします。マスターズで松山選手が優勝した後、松山選手はもちろんですが、キャディを務めた早藤翔太さんのある行為が、海外のニュースで注目され褒められました。

それは、松山選手が優勝した瞬間、見ている人の注目が松山選手に集まる中、キャディの早藤キャディはコースの方に向かって、帽子を取って一礼したのです。この光景を海外では、「本当のスポーツマンシップだ」「多くのアメリカ人が出来ないことをこの日本人はやったのだ。よくやった。ありがとう。」「さすが日本人」などと、多くの人が褒めています。

早藤キャディは、自分でこの行動を振り返り、「僕の心は感謝の気持ちでいっぱいでした。お辞儀をすることは自分にとっては自然な事で、マスターズへの敬意を表しました。(一礼の瞬間は) ありがとうございました、と言っていたのです」と話しています。自然にありがとうの気持ちがわいて、お辞儀をしたことが分かります。感謝の気持ちからのふるまい、素晴らしいですね。

お辞儀や一礼、会釈は、「オアシス」などの挨拶の中で行われます。挨拶には、声を出す挨拶や文に表す挨拶、そして、早藤キャディのように行動で示す挨拶、これらを合わせる挨拶などがあります。

4月8日の始業式で、挨拶をしましょう、と話しました。挨拶をすることは、みなさんが豊かな未来を作るのに欠かせないことです。今は生活の中で、自分で意識して挨拶や礼儀ができるようになります。意識してできることを何度も何度も繰り返すことで、自然とできるようになるのです。